



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	老朽化施設及び危険学校施設の解消		H26	指標の設定理由			
	数値	11棟			老朽化施設及び耐震性の不足する施設の早急な改善を図り、児童の安全を確保する			
活動指標	指標	a	改築工事の実施	b	耐震補強工事の実施	c		d
	数値	目標	3棟	目標	8棟	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
老朽化施設及び危険学校施設の解消	棟	3棟	0棟	2棟
		36.4%	36.4%	54.5%

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 改築工事の実施	棟	2棟 66.7%	0棟 66.7%	1棟 100.0%
b 耐震補強工事の実施	棟	1棟 25.0%	0棟 25.0%	1棟 37.5%
c		—	—	—
d		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
豊後大野市学校施設耐震化計画に基づき、年次別、学校別に行うが対象校が多く事業費が多額となることが課題である
対応（改善点等）
法律で実施が義務付けられた事業であり、児童の安全性を確保するためには必要であるが、多額な投資を伴うことから、コスト削減と補助金の確保について年次計画により実施する

## 5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

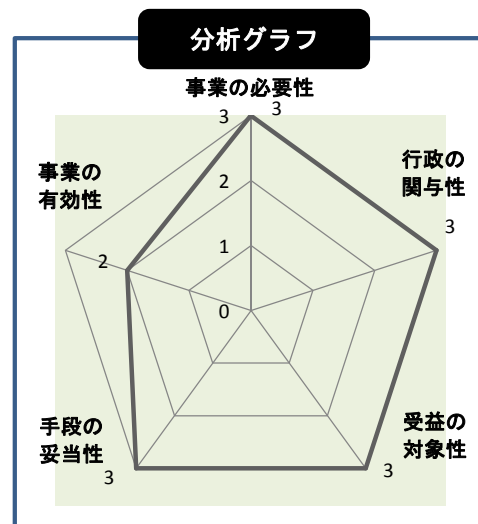
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		400,607	285,327	577,669	34,631
うち経常経費					
財源内訳	国費	260,617	12,401	314,328	
	県費				
	市債	120,500	251,900	251,800	5,600
	その他				
	一般財源	19,490	21,026	11,541	29,031
うち経常					
事業費に係る人件費		2,190	3,655	2,576	5,666
事業費に係る人役		0.50	0.85	0.60	1.30

## 6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
年次計画により実施することから

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 児童や利用する市民の安全性の確保から重要である(法定事務)
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 義務教育であることから行政が実施主体となる
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 児童から市民まで幅広く利用できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 安全性の確保から改修、改築工事を行うことは妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 年次計画の途中段階である



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期完成を目指すこと。